

製品・サービス動向-国内

■マクニカネットワークス：国内で初めて
AudioCodes 社製 Microsoft Lync Voice ソ
リューションの販売を開始

(2月3日)

マクニカネットワークス株式会社(横浜市港北区)は、AudioCodes 社(イスラエル、オーディオコース)が提供する Microsoft Lync Voice ソリューション「One Box 365 シリーズ」の販売を3月1日より国内で初めて開始する。

AudioCodes 社は、エンタープライズおよびサービスプロバイダー向けに、VoIP、音声・データ統合ネットワーク製品やアプリケーションの設計・製造・販売を行っている。同社製品の「VoIP Media Gateway」は100か国以上で導入実績がある。1993年設立。1999年NASDAQ 上場、2001年TASE(テルアビブ証券取引所)上場。マクニカネットワークスは国内一次代理店。

One Box 365 シリーズは、Lync のエンタープライズボイス機能の容易な導入を実現する Office 365 ユーザ向けのソリューション。

これまで、Lync へのエンタープライズボイス機能の導入には、Lync Server・Gateway・SBC(セッションボーダコントローラ)など複数の周辺機能の導入が併せて必要であり、技術・コスト面での課題が挙げられていた。今回発売する製品は、ユニファイドコミュニケーションを実現する Lync の音声機能導入を容易にするもの。

「One Box 365 Standard Edition」(Lync ユーザ数200名まで)は、一筐体に、Lync Server Standard Edition・フロントエンドサーバ・メディアエーションサーバ・モニタリングサーバ・アクティブディレクトリコネクタ・エッジサーバ・Gateway・SBC 及び管理ツールを完備し

ており、構築およびサポートサービスをワンストップショップで提供可能だ。なお、Gateway 機能を有していない「One Box 365 Pro」(Lync ユーザ数500名まで)、「One Box 365 EE」(Lync ユーザ数5000名まで)も提供するが、「AudioCodes Mediant」シリーズとの連携により、Gateway 機能の導入も可能だ。

One Box 365 シリーズの特長としては以下のものがある。(1)さまざまな機能とツールによりクラウドを介さない UC 導入が可能。(2)INS1500・INS64・POTS・SBC など既存のテレフォニーソリューションとの統合が可能。(3)Office365 と Lync のシームレスな統合。

(4)リモートインストールおよびさまざまなサポート・管理オプションにより、ユーザのスキルに応じたサービスを提供。(5)インストール機能の設定・復元、シンプルなユーザ管理、アクティブディレクトリと Lync ユーザの一括作成・管理など、わかりやすい GUI 管理システムの提供。

マクニカネットワークスは、UC の実現を目指す全てのユーザ向けに、AudioCodes 社の One Box 365 シリーズおよび同社製品群を積極的に拡販していく予定だ。

■サンワサプライ：指向性が切り替えできる、
Web 会議向けの高感度 USB マイクを発売

サンワサプライ株式会社(岡山県岡山市)は、全指向性か単一指向性かを切り替えて使える、Web 会議用高感度 USB マイク「MM-MCUSB30」を発売した。

MM-MCUSB30 は、半径約5mと広範囲の集音が可能な高感度マイクユニットを搭載した USB マイク。多人数が会話する Web 会議や、パソコンから少し離れた場所で通話したい場合などに最適なマイク。

Skype などのメッセージングソフトにも対応しており、ビジネスユースから個人使用まで最適という。

マイクの指向性を、Web 会議の規模によって、多人数の会議では 360 度全周方向から音を拾える「全指向性」、少人数の場合は前方方向 130 度の音を拾える「単一指向性」と最適なモードを選択できる。

エコーキャンセラー機能付きで、マイクミュート（消音）ボタンを搭載。また、電源は USB バスパワー方式となっているため、AC アダプタを使用する必要はない。

製品サイズは、幅 60x 奥行 60x 高さ 62mm、本体重量は 115g となっている。価格は、20,000 円（税別）。

■ パイオニア VC : 「xSync Prime Collaboration」のカスタマーサポート受付を 24 時間 365 日に拡大

(2月5日)

パイオニア VC 株式会社（東京都目黒区）は、ビジュアルコラボレーションサービス「xSync Prime Collaboration(バイ シンク プライム コラボレーション)」のカスタマーサポート受付を 24 時間 365 日に拡大すると発表。

xSync Prime Collaboration は、製造業の顧客を中心に導入が進んでいるビジュアルコラボレーションサービス。特に設計や開発業務において、映像と音声だけでなく、3D CAD をはじめとした高精細データを使ったコラボレーション用途で高い評価を得ている。

会社によると、国際間でのサービス利用が増えており、日本の営業時間内だけでなく、海外の営業時間で利用される機会が増えており、今回、24 時間 365 日に拡大することになった。

オンプレミスの保守契約ユーザもしくはクラウドサービス利用者は、操作方法やトラブル発生時などのサポートについて、いつでも日本語（対応言語は順次拡大予定）で受けられるようになる。専用のフリーダイヤルとメールアドレスを用意している。

なお、xSync Prime Collaboration の国際間通信は、日本 IBM のクラウドサービス「SoftLayer」を採用している。
*関連 (xSync 発表) : 2014 年 9 月 15 日号

ビジネス動向-国内

■ リコーのテレビ会議・Web 会議システム、ドイツのデザイン賞「iF デザイン賞 2015」を受賞

(2月10日)

株式会社リコー（東京都中央区）は、同社のテレビ会議・Web 会議システム「RICOH Unified Communication System P3500」が、ドイツの iF International Forum Design 主催の、権威のある国際的なデザイン賞「iF デザイン賞 2015」を受賞したと発表。



RICOH Unified Communication System P3500 (リコー)

RICOH Unified Communication System P3500 は、従来のコンセプトとは、異なる新しいコンセプト「いつでも・どこでも・だれでも・だれとでも・コミュニケーション」を具現化するテレビ会議・Web 会議システムとして、リコーが 2011 年 8 月に発売したシステムの最新機種になる。特長としては、カメラ・マイク・スピーカ・有線/無線 LAN などの各機能を搭載しながら、持ち運びに便利なコンパクト&軽量設計となっている。

iF デザイン賞は、全世界の工業製品から優れたデザインに送られる、1953 年に設立されたデザイン賞。「プロ

ダクト」「コミュニケーション」「パッケージング」「インテリア/建築」「プロフェッショナルコンセプト」の5部門において評価される。今年も、世界53か国から総数4,783点の応募があり、厳正な審査の結果1,629点が受賞した。

ビジネス動向-海外

■Vidyo社:Eran Westman氏はCEOに、Vidyo社創設者 Ofer Shapiro氏は副会長に、Guy Resheff氏はCTOにそれぞれ就任

(BusinessWire: 2月4日)

Vidyo社(米国・ニュージャージー州)は、Eran Westman氏を、Vidyo社創設者 Ofer Shapiro氏の後任として、社長兼最高経営責任者(CEO)に任命した。また、新たに同社に入社した Guy Resheff氏は最高技術責任者(CTO)に就任した。

Ofer Shapiro氏は、副会長職に就き、今後も引き続き、2005年の創業以来同氏が統率してきた Vidyo社の指揮を補佐する。

Eran Westman氏は、2014年2月に Vidyo社に入社し、販売部門を統率して世界各地の取り組みを支援してきた。企業リーダーシップをふるう経験が20年以上あり、ワイヤレス・バックホール・システムの Ceragon Networks社では、グローバル・ビジネス担当執行副社長、アジア太平洋地域担当プレジデント、EMEA担当バイスプレジデントを務めた。

Guy Resheff氏は、後に3億4,000万ドルでBroadcom社に買収されることになるワイヤレス・チップ・プロバイダーの Provigent社の共同創設者・社長・CTOを務めた。直近では、Tallwood Venture Capital社の幹部として、WiGig(60GHz帯無線規格)のリーダ企業 Wilocity社に対する投資の資金調達と取りまとめを担当。同社は2014年Qualcomm社に買収されている。

Ofer Shapiro氏は、Eran Westman氏について、大規

模な組織を確立させた成功実績があり、Vidyo社が成長の次の段階へと進むにあたり、同社を統率する適任者と評価している。

導入利用動向-国内

■浦添総合病院: NECの「クラウド型ビデオ通訳サービス」を利用開始

社会医療法人仁愛会 浦添総合病院(沖縄県浦添市)は、NECのクラウド型ビデオ通訳サービスを採用し、利用を開始した。(2月4日)

ビデオ通訳サービスは、タブレット端末を用いて NECの通訳センターとビデオ通話で接続し、リアルタイムな翻訳を実現するもの。

英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語の5か国語通訳サービスを24時間365日リアルタイムで利用可能。通訳センターのパソコン端末と利用者のタブレット端末間の画面共有にも対応しており、画面上で必要資料を一緒に確認しながらの通訳も行える。

浦添総合病院では、3台の端末を導入し、外来と病棟の一部にWiFi環境を構築することで、窓口や診察室、入院病棟などでこのサービスを利用する。

観光立県である沖縄県には、台湾・中国・韓国などからの観光客が増えており、その影響もあり、同病院への外国人利用者数も増加しているという。英会話が可能なのは限られており、英語だけでは利用者(患者と家族など)とうまく意思疎通が図れない事例も増えてきている。加えて、外国語対応可能な職員の採用や育成にも時間とコストがかかるという課題がある。

今回の導入によって、より丁寧できめ細かな診療サポートを実現するとともに、外国人対応時間・待ち時間の短縮が実現するなど、より一層のサービス向上が期待されるという。

>>社会医療法人仁愛会 浦添総合病院

<http://jin-aikai.com/urasoe-sogo/>

■プラス・ジョインテックスカンパニー：学校と物流センターを Web 会議サービスでむすび遠隔授業を実施

(2月7日)

プラス株式会社（東京都港区）の社内カンパニージョインテックスカンパニーは、宮城県の山下中学校（亶理郡山元町）1年生 77 名を対象に Web 会議サービス「V-CUBE」を使い、物流の仕事を学ぶ遠隔授業を開催した。

ジョインテックスカンパニーは、文具・オフィス家具および各種サービスのビジネス展開を行っている。今回の遠隔教育においては、児童生徒向けのキャリア教育の一環として、東北物流センターの概略と仕事の説明のほか、画像を流しながら東北物流センターの最新物流システムを紹介した。

また、それに続き、双方向で真剣な質疑応答、物流センターから出された質問に答えるクイズタイム、プラスの人気文具商品の紹介タイムなども行われ教室内がおおいに盛り上がった。

授業後、先生からは「教室にいながらこのような学習ができるのは素晴らしい」とか「生徒たちが楽しんで学習できたようだ。こんなに喜んでもらえてよかった。」といったコメントなど好評価だった。

ジョインテックスカンパニーは、今後も、V-CUBE のような ICT を活用した新しい教材関連の取り扱いを広げ、全国の学校教育の現場に、学習の提案を含めたサポートを行っていくとしている。

>>山元町立山下中学校

<http://www.yamamoto.ed.jp/yamashita-j/>

PR

>株式会社日立ハイテクノロジーズ
<http://cnar.jp/Hitachi-HighTech3.htm>

>株式会社シード・プランニング
<http://store.seedplanning.co.jp/item/8430.html>

セミナー・展示会情報

<国内・2月>

■BIG PAD を活用したクラウド型 Web 会議サービス「TeleOffice」体感セミナー

日時：2月18日（水）14:00～16:00

*2014年10月から2015年3月までの日程あり。

会場：シャープ株式会社 東京支社

主催：シャープビジネスソリューション株式会社

詳細・申込：

<http://www.sharp-sbs.co.jp/event/regular/teleoffice-b.html>

■音声品質で後悔しないための Web 会議導入・活用セミナー

日時：2月19日（木）15:30～17:30（受付開始：15:00）

会場：キヤノンソフトウェア本社（東京都品川区）

主催：キヤノンソフトウェア株式会社

詳細・申込：<http://www.canon-soft.co.jp/seminar/rd.html?270>

■さわってわかる電子黒板・遠隔講義システム・タブレット端末！学習効果アップ体感セミナー ～4月からすぐに始められる！大学の ICT 教育トレンドと最新事例～

日時：2月19日（木）14:00～16:00

会場：ブイキューブ本社（東京都目黒区）

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://vcube.smtkg.jp/public/seminar/view/171>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

Web の方の情報もご参照ください。

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2015年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

情報発信について

CNA レポート・ジャパン（橋本啓介）では、国内外における遠隔会議システム（テレビ会議・Web 会議・電話会議・ユニファイドコミュニケーションなど）に特化した情報配信を行っています。

その情報配信のためのリサーチにおいては、企業やセミナー・展示会の取材などのほか、「製品・サービス」「ビジネス」「ユーザ導入・利用」「決算発表」「人事発表」「市場統計データ」「セミナー・展示会」といった観点から、インターネットに公開されている、各社のプレスリリースやお知らせ、ニュースメディアサイト、ポータルサイト、ブログ、掲示板、youtube、メルマガ、Linkedin、Twitter、Facebook、google+などに掲載されている遠隔会議関連の情報を日々収集しております。

収集された情報の中で、市場トレンドを見ていく上で参考になると思われる情報をピックアップして配信しています。皆様ご自身の情報収集と合わせてご利用いただければと存じます。

定期レポート（15日・月末発行）：各社からのプレスリリース、CNA レポート・ジャパンの取材による記事のみ。

Dtc-forum メーリングリスト、フェイスブック&Twitter（それぞれほぼ毎日配信）：定期レポートであつまっている各社からのプレスリリースや取材を含む、遠隔会議システムに関する情報全般。

詳細は、<http://cnar.jp> 「情報配信について」をご覧ください。

CNAレポート・ジャパン2015年2月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp